

令和 8 年度：第 5 回 西蒲区自治協議会 会議録

◆会議概要

○日時：令和 8 年 8 月 2 7 日（木）午後 2 時～午後 2 時 5 5 分

○場所：西川健康センター 1 階 多目的ホール

○出席者

・委 員

石田委員、栗原委員、上原委員、乙山委員、田中（隆）委員、拝野委員、
近藤（イ）委員、後藤委員、相馬委員、大橋委員、近藤（実）委員、
池田委員、原委員、岩見委員、小柳委員、吉田委員、本井文雄委員、
田中（久）委員、佐々木（貴）委員、滝沢委員、五傳木委員

以上 2 1 名

（欠席：岩崎委員、鈴木委員、本田委員、本井文吉委員、岡崎委員、谷原委員、
藤田委員、佐々木（寛）委員、米山委員）

・事務局

区長、副区長（地域総務課長）、区民生活課長、健康福祉課長、産業観光課観光交流・
商工室長、建設課長、岩室出張所長、西川出張所長、潟東出張所長、中之口出張所
長、西川図書館長、西蒲区教育支援センター所長、地域総務課長補佐 2 名、同課係
長、同課職員 3 名

・傍聴なし

・報道なし

【会議内容】

事務局 （瀬戸補佐）	ただいまから、令和 8 年度第 5 回西蒲区自治協議会を開催いたします。 これ以降の会議については、新潟市区自治協議会条例第 9 条の規定により まして、吉田会長から議長として進行をお願いいたします。
議長 （吉田会長）	皆さま、お疲れさまです。毎日暑い中、体調のほうはいかがでしょう。 はじめに、本日の出席状況と傍聴者について、事務局から報告をお願いい たします。
事務局 （瀬戸補佐）	委員の出席状況についてご報告します。委員 30 名のうち、現在の出席者 21 名であり、過半数の出席を確認しています。したがいまして、新潟市区 自治協議会条例第 9 条の会議の運営規程を満たしていることをご報告申し 上げます。本日の傍聴者、報道機関はありません。なお、本日、インターン シップで学生 2 名、新潟県立大学と白鷗大学から 1 名ずつ同席をさせてい ただいておりますので、ご了承ください。
議長	それでは議事に入ります。議事（1）各部会の状況についてです。各部会

(吉田会長)	長は前回の部会の状況について、総務部会、保健福祉部会、まちづくり・産業部会の順に報告をお願いいたします。 まずはじめに、総務部会田中部会長お願いいたします。
田中（久）委員	総務部会の田中です。 前は、8名での開催となりました。会議内容といたしましては、令和9年度特色ある区づくり事業についてです。こちらは特色ある区づくり事業の概要及び今後の進め方について事務局から説明がありました。こちらを8月12日までにアイデアシートを提出することとしました。 もう一つが、区自治協議会委員提案事業についてです。こちらは私のほうからたたき台として、「災害時の具体的な行動について家族で共有する事項」というものを作ったのですけれども、こちらを提案させていただきました。この提案内容について、意見交換を行い、その方向性で、今後、詳細を詰めていくこととなりました。今後、原案ができれば、各コミュニティ協議会の防災部会などの関係者の方々にご意見を伺うこととなりました。主な意見としましては、防災といっても範囲が広いので、初動の避難行動をメインとした内容のほうがよい。紙面の表は避難行動などを記入することとし、裏面には各種防災情報を載せたらどうかという提案がありました。配布して終わりではなく、いかに記入・活用してもらうかが重要であるという意見が出ました。あとは各コミュニティ協議会や自治会などで実施している防災訓練の際に活用してもらったらどうかという意見がありました。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。 ちょっと私も総務部会の補足をさせていただきますと、今ほど部会長がお話ししたとおり、こういった災害時の行動とかという形のものを部会のほうで考えて、それを各コミ協の防犯防災部会から参加していただいて、例えば、そういった書式で本当に体験してもらっていいのかどうかということをおさまで話し合ってもらって、それを完成させて、全戸配布にして、皆さまで活用していただく。ただ、配りっぱなしではなくて、何か家族で話しましたよとかというような、できるようなことを工夫したいということで、今日の部会で話し合うような、詰めていくような形になるかと思います。そうになりましたら、また皆さま、ご協力をお願いしたいと思います。補足で申し訳ありませんでした。 皆さまのほうで何かご意見、ご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。 続きまして、保健福祉部会、原委員お願いします。
原委員	保健福祉部会の原です。今日、部会長、副部会長が欠席のため、私が報告させていただきます。 前回の会議では6名の出席がありまして、6人で話し合いを行いました。会議内容としまして、令和9年度特色ある区づくり事業についてということで、概要及び今後の進め方について、事務局から説明がありました。8月

	12 日までにアイデアシートを提出することとしました。 続いて、令和 8 年度区自治協議会提案事業についてです。11 月 29 日（日）巻文化会館にて開催予定の高野優さん講演会について、申し込みの確認事項や講師への質問事項等の意見交換をしました。当選者への入場券送付について、これまでははがきを送付していましたが、今後はメールでの送付希望があった場合、実験的にメールでも送付することになりました。次回、参加者アンケートの内容の検討と広報チラシの確認等を行うことにしました。
議長 （吉田会長）	大変ありがとうございました。今ほどの説明につきまして、何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。 毎回、同じことを私は言っていますが、11 月 29 日、皆さま午後からだと思います。あけておいてくださいね。部会以外の人も全員、やはり参加していただけると、非常にありがたいと思いますので、よろしくお願いします。なければ終わります。ありがとうございました。 最後に、まちづくり・産業部会石田部会長お願いいたします。
石田委員	まちづくり・産業部会です。 先回の出席者は、10 名のうち 1 名欠席という内容であります。平成 9 年度特色ある区づくり事業について、事務局から説明があり、アイデアシートを提出することとしました。 続きまして、令和 8 年度区自治協議会提案事業にしかん応援隊制度の今後の取組みについて協議しました。これは、令和 7 年でしょうか、12 月 18 日ごろにまちづくり・産業部会がセミナーを開いた会がありました。その会のときに、せっかくいい制度なので、このまま終わることなく、次回以降も引き継いだらどうかという質問内容を頂きました。それにつきまして、私のほうから行政と相談しながら、あるいは皆さまと相談しながら、ぜひ引き継いでいく方向で検討したい旨を回答してきました。そういったことで、我々も逆にどうするのだというようなことで、まちづくり・産業部会では真剣に議論いたしました。その結果、制度の継続、引き継ぎに向けて、本会議での会長からのご意見を踏まえたうえで、各地域のコミュニティ協議会のメンバーを核として組織化する方向でどうかというような方向性が出たということです。その方向で理解していただきたいということの内容であったかと思います。以上です。よろしくお願いいたします。
議長 （吉田会長）	ありがとうございました。何かご意見、ご質問はありますか。こちらのほう、ちょっとしつこいようで申し訳ありませんが、非常に提案的にはいいことかなと思うのですけれども、いろいろな形で今までやってきたことが、外部というか、別に作って始めた結果、全部 1 年、2 年くらいで分からなくなってなくなっています。そういったことを全部目にしてきているので、特に自治協議会で担当という形になれば、毎回、本会議でお話したりとかということが出来るのですけれども、任意団体を作っただれがメンバーなのかとって、例えば、今時点で分かりやすく言うと、いろいろな

	考えがあるので、私の一つの考えと思って聞いていただければと思います が、今まで応援隊がすごく盛り上がっていて、各地域でももういっぱい応援 隊が来る、募集も来る、参加者も多い、そういった段階であれば、コミ協を 軸にして立ち上げるということは、全然すごくいいかと思うのですけれど も、まだその前の前の前の段階だと思っています。まだ周知が全然できてい ない、募集をかけても来ない。そういった中で自治協議会から離してしまう と、だれが責任を持って事務局をするのだという形になってくると、ちょっ と私は、まだ早いのではないかと考えております。それで前回も本会議で話 をさせてもらったので、私が言うのは、もちろん強制力はないので、また意 見を出していただければと思いますけれども、やはり自治協、例えば本部づ け、会長・部会長づけみたいにして、毎回の本会議でこういった案件があり ます。皆さまどうですか。参加してみても感想どうですか。もう少しこうし たほうがいいことはありませんかといってもう一期やっていったほうがいい のかと思います。 もう一つは、部会にまた継続事業でお願いしますといって、他の区の自治 協議会では、継続事業でも十何年やっているとかという事業もありますけ れども、どうしてもメンバーが変わってしまうと、継続事業でにしかん応援 隊となると、にしかん応援隊だけをすればいいのかというように間違っ て考えてしまうので、確かにこれは議論するとすごく奥が深すぎるのです。だ から部会で 2 年間かけて、どうやって広げるかということを今、考えてい ただいておりますが、それだけ奥が深いのに、ほかに離してしまうと、自然 消滅になるかなと危惧するので、そこをもう一回、今日、いろいろ意見が上 がりましたし、それを参考に改めて検討いただくと非常にありがたいの かなと考えております。私自身 3 期目なので、来期はもういませんで、 だからなおさら心配させていただいているところが多いのですけれど も、ぜひそんな形で再検討願えるとありがたいかと思います。意見なので 以上です。 ほかに皆さまいかがでしょうか。ありがとうございました。よろしくお願 いします。それでは、議事（1）を終了します。 次に、議事（2）他の会議への委員の推薦についてということで、地域総 務課町から説明をお願いします。
事務局 (小林地域総務課長)	地域総務課の小林です。 資料 2 をご覧いただきたいと思います。他の会議への委員の推薦につ いてというところで、このたび、新潟市国民保護協議会の委員に西蒲区自治協 議会委員を推薦いただきたいという依頼が来ております。このため、この西 蒲区自治協議会から推薦する委員について、審議をお願いするものです。 新潟市国民保護協議会ですが、万が一の武力攻撃やテロなどから、国民の 生命、身体、財産を保護するための情報提供や避難誘導等を定めた国民保護 計画について意見を伺うために、新潟市が設置している附属機関です。任期

	は令和 8 年 9 月 1 日から令和 10 年 8 月 31 日までの 2 年間となっております。この会議の委員から西蒲区自治協議会から 1 名推薦を依頼するものです。以上、推薦する委員について審議いただきますよう、よろしくお願いいたします。説明は以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。委員の推薦ですが、現在、私のほうが出させていたideしておりますが、次、任期に出てこないのて、正副会長で協議した結果、裏面に、極力、女性の適任者を推薦ということでしたので、まだ、拝野副会長は 1 期目ですので、拝野副会長を委員としては推薦したいと思います。私、4 年間、こちらをさせていただきましたが、一回も招集がありませんでした。それだけ平和だと思います。何か招集があったら大変なことがありますということで、こちらの正副会長で協議した結果ということで、申し訳ありませんが、拝野委員を選出したいと思います、皆さまいかがでしょうか。拍手多数ということで、ありがとうございました。それでは、議事 (2) は終了いたします。 次に、その他、西蒲区の課題、地域の情報などです。はじめににしかん応援隊の活動実績、潟東おまつり広場・どろんこカップについて、拝野委員より説明をお願いします。
拝野委員	にしかん応援隊の活動実績についてお話しいたします。 このたび、潟東地域のおまつり広場に 2 人のボランティアスタッフがお手伝いしてくださいました。そのお 2 人から、にしかん応援隊が終わりまして、アンケートを頂きまして、そのアンケートの内容を皆さまにお知らせしたいと思います。2 人のうち 1 人は、地域の方々との交流を通じて、とても楽しい思い出を作ることができましたということで、満足いただきました。もう 1 人の方は、やさしく教えていただき、人当たりがよくて、とても心地よくできましたということで、満足いただきました。この 2 人は、高校生お 2 人でして、仕事内容といたしましては、コミュニティセンター玄関のところで、下足番というか、外履きを入れてもらう袋をお渡ししたりすることをお願いしたのですけれども、内容的にはやはり来ていただいたので、それだけではなく、地域みこしを展示していましたので、皆さまのところでみこしを担いでみましょうということがありまして、高校生 2 人にもお手伝いしていただきまして、なぜか私も手が足りないのて、形だけでも参加してくださいということで、ちょっと触るだけで行ったつもりが、なぜか本格的に、普通に力を入れてみこしを担ぎました。人生初めてみこしを担いでみましてとても楽しかったので、そんな形で高校生もそんな体験をしていただきまして、とてもありがたかったので、楽しい思い出ができたかなと思います。それで提案というか、高校生のほうから、実は潟東コミュニティ協議会のほうに、今回、参加したことでボランティア証明書が欲しいということをお話しされまして、コミ協といたしましては、要は応援隊ということで参加はしましたけれども、応援隊という名前のついたボランティア証明

	書は出せないけれども、潟東コミュニティ協議会としての証明書出させてもらいました。このように自治協議会のにしかん応援隊として参加していただいたボランティアさんには、できたら皆さまに応援隊に参加したという、そういう証明書を発行できますよ、しますということがありますと、また一つの励みというか、ボランティアしてよかったという、そんな思いもあるのかなと、一つの提案です。これからまた自治協議会としてもにしかん応援隊の内容を新たにプラスして考えていけることになったらよろしいのかなと思います。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。この件について、補足で。今、高校生とか大学生、そういったボランティア活動というものを全部内申に書けるので、そういうのもひとつ新しい時代でありかなという提案もありますので、事務局に話をしておきましたので、ぜひ話をしていただけるとありがたいかなと。部会で議論していただければと思います。補足させていただきました。 ただいまの件について、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。ありがとうございました。 次に、まるまる会の勉強会について、池田委員より説明をお願いします。
池田委員	西蒲区社会福祉協議会の池田です。よろしくお願いします。 皆さまのほうに、本日、カラー刷りで配付させていただきました、生きづらさを抱えた方の親の会ということで、まるまるの会という会があるのですけれども、こちらは主に引きこもりの方を抱える親の方々の会です。こちらの会で、年に1回、勉強会を開催しておりまして、今回、身寄りなし問題研究会の代表の須貝さんにお越しいただきまして、「自分が死んだらこの子はどうなるーひきこもりのOSD問題」ということで、親が死んだらどうしようというところなのですが、こちらは、どなたでも参加可能です。 また、第2部のほうで、そういったひきこもりの方を抱える親の方限定というような形になりますけれども、親の会ぷちまるまるの会ということで、定員10名で予定しておりますので、もし委員の皆さまでぜひご紹介したいという方がいらっしゃいましたら、周知のご協力をお願いということと、もちろん委員の皆さま参加していただければと思いますので、どうぞよろしくお願いします。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。今ほどの説明につきまして、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。ぜひ皆さま、各団体などにもお声がけを頂きまして、ご参加いただきますよう、よろしくお願いします。大変ありがとうございました。 続いて、私のほうから2点お伝えをいたします。一つ目ですが、7月10日に開催された区自治協議会会長会議において、区自治協議会10期20年を記念する取組みとして、8区共通の自治協ロゴマークを作成することとなりました。そこで先日、私、市民協働課と一緒に新潟デザイン専門学校への作成をお願いに伺い、1年生の授業として取り組んでいただけたこととなり

	ました。そこでロゴマーク作成にあたり、自治協をイメージする言葉や印象を募集要項に記載したく、複数の選択肢と自由記載欄を設けたアンケートを 8 月 31 日締め切りで申し訳ありませんが、皆さまのお手元に配付しました。ぜひ、依頼に基づいて、アンケートのご協力をお願いしたいと思っております。回答はこの QR コードでもいいし、紙でもいいですので、ぜひ 31 日までをお願いしたいと思います。9 月に入りますと、先生にまたご説明に行き、9 月の中旬に生徒にプレゼンというか、説明に行ってくる予定になっていますので、皆さま、ご協力よろしくお願いいたします。 ただいまの件につきまして、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。ぜひ多くの皆さま、ご協力お願いします。 次に 2 点目ですが、前回の本会議で説明がありました、特色ある空づくり事業についてです。参考資料「令和 9 年度特色ある区づくり事業委員アイデア一覧」をご覧ください。区役所企画事業に対する委員からのアイデアが 8 件提出されました。委員の皆さま、本当にありがとうございました。提出されたアイデアについて、本日の各部会におきまして、意見交換をしていただくこととなりますが、アイデアを出された委員が必ずしもそのアイデアの所管分野の部会に属しているとは限らないので、せっかく提案いただいたので、アイデアを提案された委員の方から、一、二分程度で提案内容を説明していただきたいと思います。 それでは、順番にいきたいと思いますが、鈴木委員は本日欠席なので、鈴木委員のところについては、ここに記載のことを少し説明させていただきます。郷土文化・伝統芸能のすばらしさを知るということで、西蒲区各地域の民謡や太鼓などを集めた民謡フェスを開催してほしいという提案がありました。場所は城山で、暖かい時期という形で提案がありました。大変ありがとうございました。 続きまして、本田委員も欠席だそうですので、私のほうで読ませていただきます。 こちらについては、中学生の部活動の地域移行に伴い、帰宅部の生徒たちが地域とのつながりや貴重な成功体験、集団活動の機会を逃してしまうのではないかと懸念しているので、学校と地域と家庭の隙間を埋める居場所事業という形で、ぜひお願いしたいということです。内容については、小学生児童館の中学生版を開催したりとかという形で記載いただきました。大変ありがとうございました。 続きまして、拝野委員よろしくお願いいたします。
拝野委員	提案の目的といたしましては、食品ロスの削減です。課題としまして、まだ食べられるのに廃棄される食品が多い。大量のごみ処理に多くのエネルギーや費用がかかり、貴重な資源がむだになると書かせていただきまして、やはり食べ物を大切にすることや、環境問題を考えるうえで、そのきっかけにもなればいいのかなと思って、私は、課題とさせていただきました。そし

	て、具体的な取り組みやアイデアとしまして、若い年代から食品ロスに関心を持ってもらうために、小中学校を対象に食品ロス削減のポスターだったり、コンクールや食品ロスを削減するレシピのコンテストを行ってもらうといいのかなと思いました。食品ロスを小中学校で考えることによって、先ほども言いましたが、食べ物大切さ、環境問題につながるということを私は思っていますので、家庭での食べ残しだったり、買い過ぎ、作り過ぎとか、そういう問題もいろいろなことが考えられると思いましたので提案いたしました。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。 続きまして、池田委員お願いいたします。
池田委員	私のほうからは、物価高騰等による生活困窮の一人親世帯がさらに厳しい生活を強いられているという状況が課題です。夏休み等の学校が長期のお休みの間に給食がないわけで、家庭でなかなか食べ物にも苦労しているという家庭が少なからずあるのではないかなという課題に着目しています。具体的な取り組みやアイデアというようにあるのですが、私は千葉県市川市のフードリボンプロジェクトをイメージしております。可能であれば区内の飲食店で食事された方が、ワンコインでも寄附して、それをこどもたちが無料で食べられるよう。夏休みの期間等で実施できたらいいかなというように提案させていただきました。
議長 (吉田会長)	大変ありがとうございました。 続きまして、小柳委員、二つありますので、順番にお願いいたします。
小柳委員	スポーツ協会の小柳です。二つ用意させていただきました。既存の事業を二つということであります。にしかんなないろ野菜消費拡大支援事業ということと、ホッケーDEにしんくグーと二つ事業がありますので、この辺、非常に疑問を持った部分がありますので出してあります。どちらも非常にニッチな話なんだなということで、西蒲区の目玉とする事業としては、非常にニッチすぎるというようなことで、何を目的にやっているのかちょっと分からない部分があるのでということで書いた中身です。 にしかんなないろ野菜の消費拡大の話であります。皆さまお分かりかと思いますが、農協の越王の里でにしかんなないろ野菜という一角に品物が売っております。いろいろがんばっている点もよく分かっております。ただ、量としては限られている品目ということであります。昨年の実績として、ブランド力の向上、今年の計画としては地元野菜に対する愛着と醸成、販売拡大が目的だということで、非常に目的がぶれているというように私は思います。本来、これは何をどのようにして、ブランドとして育てていくのか。どのようにするのか。地域の方に消費拡大できればいいのか。生産者がもうかるようにするのか。面積拡大していくのか。その辺が非常に不明確だと思います。なないろ野菜を例えば、くろさき茶豆とか、かきのもと、帛乙女とか、そういうものがいろいろ出ていますけれども、その辺と合わせ

	るくらいの品目として育てていく気持ちがあるのか。単に地域の特色ある野菜として、地域内消費にとどめるレベルにしておくのか。方向を明確にする必要があるのかと思います。書いてあるのかもしれませんが、本来、これは農協のほうの仕事だ。あくまでも行政としてはこれを手伝っているのだよというようになるのだろーと思いますけれども、その辺を明確にやっていったほうがいいのかと思います。 現状、直売の野菜ですと、当然、量なり品質が不安定だと考えます。統一した出荷の規格に基づいてということは当然ないと思いますので、その辺を今後、消費拡大なり、実需者を特定していくとか、いろいろな部分でやっていくには支障をきたすのかなと思います。具体的な部分は下のほうに書いてあるのですが、具体的にどうしていくのかということを生産、販売に関する基本的な考えとアクションプランというものをちゃんと整理していったらいいのかと思います。最終的に、新潟市の食と花の銘産品として指定品目を目指していくのか。その辺はちゃんと考えていったほうがいいのかと思います。 あと下のほう、ホッケーDEにしんくゲーというようなことで、西蒲区はホッケータウンということで、全日本のホッケー協会のほうで登録を受けたと伺っておりますけれども、ホッケー競技にのみ絞った施策ではなくて、幅広い競技で活用することとして、ジュニア層の拡大を図るべきではないかと思っております。多くの競技でジュニア確保対策に頭を悩ませているのが現状で、ホッケーだけの話ではないですよということであります。特に、新潟市ホッケー協会は、新潟市指定強化事業を活用して、施設を無償で利用しているというような実態があります。特色ある地域スポーツということで、ホッケー競技が特定されていると思うのですが、あらゆる競技が一生懸命やっているわけでありますので、公平な対応をお願いしたいなと思います。そういうことで、ホッケーだけではなくて、ジュニアスポーツすべてというようなことで、いろいろな事業をやってもらったほうがいいのかと思います。その場合、区のスポーツ協会が主体となってやることもできますよということをお願いしたいと思います。少し長くなりましたが、以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。 続きまして、滝沢委員お願いします。
滝沢委員	にしかんぐる～んバスの有効活用ということで、土日祝に運行するにしかんぐる～んバスのバスツアーを組んでみてはどうかと提案させていただきました。今、周回して決まったルートを回っていると思うのですが、コンセプトやテーマをつけて、西蒲区には本当にたくさんの魅力だったり、おいしいものだったり、スポットがあるので、酒ツアー、スイーツツアー、名所を巡るツアーなど、そういったものをツアー化してみるのはいかがでしょうかと思いました。観光の一つとして、西蒲区の魅力あるスポットを周遊する、

	周回することで、ぐる〜んバスを認知するということにもつながりますし、魅力向上にもつながり、外から来る観光客などのアプローチ、あとはそこで経済効果だったりとかお金を使ってもらおうということにもつながるかなと思って、そういった活用はできないかと思いました。 ここに例も書いてあるのですが、例えば、西蒲スイーツバスツアーとして、集合場所は巻駅がいいのか、いいところがあれば、そこからここに何時に集合してください。そこから例えば、レガーロを回ったりとか、そういった名所、名所を回って行って、食べ比べしたりなど、そういったツアー化するのがすごい活性化できるのではないかと思います。最終的には、巻駅と書いてありますけれども、これを岩室温泉とタッグを組めば、宿から酒ツアーみたいな形で飲酒できるようなものとして、いろいろなところの酒蔵を回って、最後はまた宿に着いてというような楽しみ方もできますし、そんな形で西蒲区の魅力をもっともっとこれを使って発進していけないかなと思いました。広報は SNS だったり、お店だったりとか、そういうところとタイアップしてやっていけないかなと思っています。ターゲットは、観光客以外にも、小学生の親子連れで回りやすいような、そういったものもできるのではないかと思います。
議長 (吉田会長)	提案ありがとうございます。 それでは、五傳木委員をお願いします。
五傳木委員	五傳木です。自分のほうからは、上堰潟公園の桜のライトアップについての提案をさせていただきました。僕自身が松野尾みらい会という会に所属していて、そこからコミュニティ協議会やにしかん創生会議、いろいろな団体とタッグを組んで公園の桜のライトアップということをやってきました。この 3 年間で、大体約 9 万人の集客という形で書かせてもらってはいるのですが、実際、だんだん認知度が上がって、規模感がだいぶ大きくなってきている部分もあって、その部分で自分たちで今まで協賛金を集めたり、運営という部分をやってきてはいたのですが、なかなか各メンバー、スタッフの負担がだいぶ大きくなってきているという部分もあって、その部分も踏まえて、区の間違いなく観光事業として魅力のある場所になっていると思うので、一緒にそういった部分で、丸投げするというわけではなくて、西蒲区と一緒にまたこういうおまつり、イベントというか、ライトアップに関して、いろいろなことを一緒にやっていけたらなという思いで提案させていただきました。
議長 (吉田会長)	ありがとうございます。皆さま、貴重なご提案をありがとうございます。この後、各部会において、意見交換をお願いします。 私のほうから一点、あえて書かなかったのですが、ちょっとお願いがあります。これについては、市の予算の中で、自治協の提案事業が現在、80 万かける 3 部会 240 万出ておりますが、これは各部会で検討しようがないと思うので、私、今日この場で発言をさせていただきますが、240 万ありま

	す。逆にこういった形で、いろいろないい提案が出てきているので、自治協の予算を、もともと私が入った第 8 期では 300 万ありました。ちょっといろいろ有効活用したいということで、前区長からもお話を頂きまして、そういう形でいいのではないですかということで、20 万ずつ 60 万減らしまして 240 万になっております。さらに最近、この 2 期 4 年の自治協議会の活動を見ていると、別にイベントすることがどうかではなくて、いろいろな勉強をしたりとかという形に最近はなっているんで、240 万全部使わなかったら、繰り越しではなくて、そのまま市に戻すような形になって、それはそれで税金の使い方としてはいいとは思うのですけれども、せっかくこれだけ自治協議会で 240 万ある中で、大体、50 万くらいずつしか使ってないのかとは思っているんで、ぜひその辺をもう一回、精査していただいて、ぜひ 200 万なら 200 万とかで、また金額は私は言いませんが、検討していただいて、もう少し下げてもらってもいいのかと思います。各部会、例えば今、80 万、80 万、80 万とやっていますが、部会によっては昨年、総務部会でやったラジオのアナウンサーが来るというのが、ちょっと予算がオーバーしてという形になって、ほかの部会からという形になりましたが、逆に来期、各提案事業で各部会で検討した結果、例えば、総務部会は 80 万かかります。まちづくり・産業部会は 30 万で大丈夫かなとかということを事務局で調整してもらって、有効に自治協の中でも使っていただくようにしていけると、一番いいのではないかと思います。この 6 年間、自治協にかかわらせてもらって見てきた中で、何かもったいないなという気がしてきていたので、口頭ですみませんが、これは議事録に残るので、提案をさせていただきました。あとは区役所のほうで区長、副区長はじめ、ご検討いただければと思います。私からは以上です。ありがとうございました。 それでは、各部会のほうで 8 番までのことについて、意見交換をお願いいたします。 次に、体育施設の利用再開について、地域総務課長より説明をお願いいたします。
事務局 (小林地域総務課長)	資料はありません、口頭で申し訳ありません。 西川の総合体育館がアリーナの雨漏りということで昨年から改修工事をさせていただきましたましてクローズしていたのですけれども、10 月 10 日（土）からアリーナの利用を再開するというので準備を進めさせていただいておりますので、ご報告をさせていただきます。なお、予約開始は 1 か月前の 9 月 10 日（木）からということになります。また、予約可能期間、予約方法につきましては、ホームページ、それから区だよりの 9 月 6 日号に掲載をさせていただきますので、そちらでご確認を頂ければと思っています。長期間のご協力ありがとうございました。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。西川の体育館、早くオープンすることになってよかったです。あ

	りがとうございました。 続きまして、わらアートまつりについて、産業観光課の田村室長がきていますので、お願いいたします。
事務局 (田村産業観光課観光交流・商工室長)	西蒲産業観光課の田村です。 お手元に資料があるかと思いますが、これをご覧になって、お聞きいただければと思います。米どころ新潟市の中でも、最大の農地面積を有する西蒲区を舞台に稲わらで制作した巨大なアート作品を展示するわらアートまつりが今年も開催されます。開催機関は8月29日(土)から10月31日(土)までの2か月間、会場は上堰潟公園です。今年で18回目の開催となります。今年も武蔵野美術大学と長岡造形大学の学生の皆さまがデザインした5体のわらアート作品が制作されます。今年のテーマは、チラシの真ん中に書いてあります。ストーリー仕立てとなっており「ぽかぽか温泉会議～湿地の動物大集合!」と題しています。こちらは11月に新潟市で国内初開催となる第5回世界湿地都市ネットワーク市長会議が行われることにちなんで、学生たちが考えてくれたものです。ストーリーとしては、ある日、遠い国の湿地に暮らす動物たちのもとへ、新潟にある五つの温泉に、湿地に住むあなたたちを招待しますという1通の招待状が届くという物語です。招待状を受け取ったカピバラやサイなどの動物たちがわらアート作品として会場に登場します。ぜひ作品を通じて、この物語の世界観を楽しんでいただければと思います。 続きまして、裏面をご覧ください。今年もグルメやスイーツを楽しめるにしかん市場、わらアート作品のライトアップを実施します。またにしかん市場を開催する9月21日から23日の祝日の3日間、今、キッズダンスや中学生による吹奏楽演奏などのステージイベントも今回、予定しています。現在、学生の皆さまがまたボランティアとともに開催に向けて急ピッチで制作作業を進めています。ぜひ多くの皆さまに会場へ足を運んでいただき、学生たちの思いが込められた作品をご覧いただきたいと思います。なお、あさって土曜日8月29日は、10時から制作に携わった学生による作品紹介も予定しておりますので、可能であればこれにもぜひお越しいただければと思います。次第にはありませんでしたが、急遽入れていただきまして、ありがとうございました。私からの説明は以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。何かご質問ありますでしょうか。明日まで制作をしております。もしお手すきの方がいらっしゃいましたら、明日、上堰潟公園に行っていただければ、手伝いもぜひお願いしたいと思います。ではよろしく申し上げます。 最後に、後で読んでくださいという形で、こちら私たちのくらしを考えるということで、9月1日、9月16日に天寿園ホールでこういったイベントが開催されます。これからの新潟に向けて、まちの未来を一緒に考えてみませんかということで二本立てになっております。どちらかの参加でも大丈

	夫です。まちづくりに興味がある方、新潟の未来と一緒に考えたい方など、どなたでも大歓迎ということですので、ぜひいろいろな方にもお声がけを頂きまして、ご参加いただけるとありがたいかなと。私は両日参加で申し込みしますので、ぜひよろしくお願いをしたいと思います。 このほかご発言の事前の申し出はありませんでしたが、西蒲区自治協議会全体で議論したい課題、あるいは皆さまにお伝えしたいこと、行事などあれば、皆さまご発言をお願いします。 それでは、ないようですので、最後、締めを今日は岩崎副会長お休みでしたので、拝野副会長をお願いします。
拝野委員	今日は皆さま、ありがとうございます。潟東のおまつりのことだったり、これからまたにしかん応援隊のことも皆さまで話し合っ、いい方向に決めていきたいと思いますので、皆さま、今後ともよろしくお願いいたします。今日は、どうもありがとうございました。
議長 (吉田会長)	拝野副会長、ありがとうございます。 それでは、事務局にマイクをお返しします。
事務局 (瀬戸補佐)	ありがとうございました。 事務局から次回の西蒲区自治協議会についてご連絡します。次回の西蒲区自治協議会につきましては、9月24日(木)の午後開催予定です。今回の会場も、西川健康センター、こちらの会場になりますので、お間違いのないようにお願いします。ご案内につきましては、後ほど、改めて送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。 それでは、以上をもちまして、令和8年度第5回西蒲区自治協議会を終了いたします。お忙しいところ、大変ありがとうございました。